※実務経験のある教員による授業科目

授業概要

1ドル=110円が120円になれば円安、100円になれば円高と呼ぶ。円高になると、輸出には不利になるが、輸入物価は下落し、インバウンド観光客が増加する要因になる。このように刻々変化する為替は経済活動に影響を与える。前半は、国際金融の役割、外国為替市場、債券市場、株式市場など、後半は、フィンテック、金融政策と金融市場、欧州通貨統合、機関投資家とコーポレートガバナンスなどについて講義する。

投資家向けに経済・企業業績予測などの情報を提供しているみずほ証券リサーチ&コンサルティング、上場企業社外取締役としての実務経験に基づいて、国際金融の分析手法について詳しく講義する。

授業計画

第1回	講義の概要
第2回	国際金融の役割
第3回	外国為替市場について
第4回	債券市場について
第5回	株式市場について
第6回	オルタナティブ市場
第7回	金融派生商品について
第8回	フィンテックについて
第9回	国際金融市場について
第10回	金融協調と金融の安定
第11回	金融政策と金融市場
第12回	国際金融投資について
第13回	国際通貨制度の変遷
第14回	欧州通貨統合について
第15回	機関投資家とコーポレートガバナンス
第16回	期末試験

到達目標

- ・国際金融の役割、株式市場、債券市場などについて、ノートテイキングができること
- ・フィンテックなど国際金融の現状を理解し、課題について考えることができること。
- ・授業を踏まえて、国際金融について論述することができること。

履修上の注意

遅刻や欠席をしないようにしてください。国際経済論、欧米経済事情も履修することが望ましい。金融の業界団体からゲストスピーカーを招へいすることがある。

予習・復習

テキストや自作ノートを用いながら講義の予習・復習をしてください。国際金融の現状についても講義するため、新聞などをよく読んでください。

評価方法

期末試験（70%）、リアクションペーパー（30%）。

テキスト

- ・教科書名：これさえ読めばすべてわかる国際金融の教科書
- ・著者名：川野祐司
- ・出版社名：文真堂
- ・出版年（ISBN）：2019年（978-4-8309-5049-0）